



くまがわ



ちぎり絵(縦78cm×横108cm)

今年の干支である猿をテーマに、デザイン、下絵、画材となる新聞紙の選択・加工など、すべての行程をダイケアメンバー全員で取り組みました。制作に半年近くを費やした大作です。

Contents

2P ●年頭のご挨拶

3P ●看護の日「ふれあい講演会」開催

4P ●イベント紹介

- 心の扉を広げ、羽ばたこうふれあいピック
- ウキウキわくわくふれあい祭り
- 来年は優勝を目指して!!

5P ●イベント紹介

- 世界文化遺産万田坑に行ってきました!
- 白熱の戦い院内ビーチバレー大会
- サンタからの贈り物

6P ●第53回熊本県精神保健福祉大会

精神科医療永年勤続者表彰を受けて

●お茶会

7P ●第61回九州精神医療学会

- 九州理学療法士・作業療法士
合同学会2015 in 大分

理念

地域社会に信頼される
精神科医療をめざし、患
者様に安全で安心される
質の高いあたたかさで癒
しの医療を提供します。

基本方針

1. 満足していただける
医療を行います。
2. 快適な院内環境に努
めます。
3. 専門知識の向上に努
めます。

患者様の 権利

1. 個人として、その人権を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 良質の医療を受け、選べる権利
4. 公平で差別されない医療、及び、対応を受
ける権利
5. 安心、安全な環境で治療を受ける権利

年頭のご挨拶

平成 28 年 1 月

八代更生病院 理事長・院長 宮本憲司朗



年末年始はお天気も良く、暖かくいいお正月でした。昨年は病院としては大きな問題もなく無事に過ごすことができました。

平成 27 年を振り返りますと、5 月の医療機能評価受審がありました。

第3回目の更新でした。今回の受審テーマは若い世代を中心とした、第3世代の八代更生病院としての変化の始まりでした。2025 年へ向けての新しい始まりの年であったと思います。2025 年は団塊の世代が全員 75 歳の後期高齢者となる年で、少子高齢化問題がピークになる年です。

昨年の日精協の報告では、全国の精神科病院の平均病床利用率が90%を切ってきました。当院でも利用率が年々減少傾向にあります。これは長期在院患者の退院促進、入院期間の短縮化、地域医療へのシフト、高齢者入院患者の増加に伴う看取りの増加等が要因として挙げられます。

病床利用率は今村理事長の時より病院運営の大きな柱の一つとして利用率アップにスタッフ全員で取り組んでいます。毎月第1火曜日は診療管理会議が開かれ、そこで病床利用率向上も重要な議題として毎月各部門から利用率の数字を報告してもらっています。昨年 10 月の診療会議で、平成 27 年度上半期の総入院費が前年度比で減少したことを提示させていただきました。その後直ぐに職員の皆様に対応していただき、11 月、12 月は盛り返してきました。これは素晴らしいことだと思います。スタッフ皆様が日々行っている医療業務が病院運営と直結していることを十分に理解していただいているからこそその理解と行動であつたろうと、ありがたく思っています。

政府は「社会保障と税の一体改革」で「経済再生なくして財政健全化なし」と医療・保健・福祉改革に市場原理主義を持ち込んでいます。市場

原理主義とは利潤を得ることを最大の目的とした価値観であり、人は財産を有する人に何らかの商品やサービスを供給し、その対価として報酬を得ることによって自らの生活を豊かにする、というものです。

日本の医療は国民皆保険制度によりいつでもどこでも平等に合理的な一律料金で受診できます。受診してこられた患者様には、どなたにも同等の医療サービスを提供します。精神医療では、社会的に、経済的に不利益を蒙りやすい患者様が多いので、精神科医師の倫理綱領では、「精神医学・医療は人びとの精神保健福祉の向上に寄与し、精神の病による障害や不利を克服し、平和で幸せな生活を送れるよう支えること」を目的としています。これは精神科医師ばかりでなく、すべての精神科医療従事者の目的でもあります。利潤を得ることを最大の目的でなく、高い倫理観と使命感を持って、「暖かさと癒しの医療」を提供し、病院運営に当たっています。

少子高齢化のもう一つの問題である、若い医療スタッフ不足です。今年の 4 月には熊本市で開催される、ナースの就職ガイダンスにブースを開く予定です。これも既に、現スタッフを中心にプロジェクトチームが活動しているところです。若いスタッフに病院が求めるものは、精神科医療を多く経験し、そして学習し、精神科医療従事者として成長していただくことです。一人ひとりの力が伸びて、それをチーム医療で増幅させていき「看護の力」として治療効果に反映するものと考えます。新しい仲間が大勢増えれば良いと思います。

長岡先生におかれましては、今春、ご主人がアメリカへ留学されるのに伴って渡米されることが決まりました。長い間、大変お世話になりました。

今年も八代更生病院職員全員が、健康で、元気に働けることを祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

参考文献

櫻本章司：精神科における医の倫理と市場原理は両立するのか？、精神科治療学、30（12）；1561-1565、2015

■ 看護の日『ふれあい講演会』開催

平成 27 年 10 月 10 日 大笹 美智子

毎年八代更生病院では「看護の日」にちなんで講演会を開催しています。「看護の日」とは 21 世紀の高齢化社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、老若男女を問わず、誰でも認識するきっかけとなるように制定されています。

今回で 7 回目となる講演会は、地域の方へ認知症の理解を深めていただき、ともに支えあい、助け合えればという思いで、「認知症」をテーマに麦島公民館にて開催致しました。

まず、当院の認知症疾患治療病棟の看護師より「4 大認知症」について、症状別の困りごとに対する対応についての話がありました。例をあげると、「大切なものをどこかにしまってしまい、そのこと自体を忘れてしまった時、一番熱心に介護している人が疑われることが多いです。その対応として本人が言っていることが正しいという考えのもとに、一緒に探してあげる。」など、患者様の症状の特性をとらえ対応するポイントの話でした。

次に特別講演として、認知サポーターを養成しておられるキャラバンメイトの宮本暢子先生より「よくわかる認知症」について御講演をいただきました。普段は地域包括支援センターで勤務しながら、地域の方へ認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者（認知サポーター）を一人でも増やし、安心して暮らせる町づくりを目指されているそうです。基礎知識・対応・相談窓口などを分かりやすく紹介していただき、認知症の人への対応の心得“3つの『ない』” 1. 驚かせない 2. 急がせない 3. 自尊心を傷つけない。という接し方を学びました。

最後には認知症サポーターの方による振り返りの劇がありました。悪い対応と良い対応の比較を演じていただいて、イメージがつかみやすかったです。

参加者の感想として、「とてもわかりやすく、興味深い内容でした。3つの『ない』が家族に対してもできるようにしたいと思いました。その人がその人として人生を送れるようサポートできればと痛感しました。」などたくさんの感想がありました。

私たち医療関係者は認知症という病気ばかりを見がちですが、行動の根本に不安や恐れがあることを知った上で、症状に合った対応をしていけたらと思いました。



▲認知症サポーター制度について説明



▲症状別看護を事例にあげ、当院での対応について発表する、院長と当院スタッフ。



▲劇で認知症の方への対応をふりかえる。

イベント紹介

～心の扉を広げ、羽ばたこう ふれあいピック～

平成 27 年 10 月 16 日

パークドーム熊本にて第 22 回熊本県精神障がい者スポーツ大会が開催され、当院からは 21 名が参加しました。参加者 1,300 人の中で綱引き・玉入れ・食欲の秋（パン食い競争）・リレー・スポーツダンス・サバイバルゲーム等の各競技にそれぞれ参加し、秋の運動会を楽しんでいました。

「蒲島知事を初めて見ました。」「みんな元気で、リレーが一番だったのが良かった。弁当もおいしかった。」「みんなで走り、引っぱり、考え、頑張りました。非常に良かったです。」「最後のAKBの歌に合わせたダンスがとても良かった。」等の声が聞かれました。

「来年は玉入れに。」「食欲の秋（パン食い競争）に出たい。」など、来年への意欲も語っていただきました。

前田 厚子



ウキウキ わくわくふれあい祭り

平成 27 年 10 月 17 日

晴天に恵まれ清々しい風が吹く中で、第 17 回更生病院ふれあい祭りを開催しました。

可愛らしさと元気あふれるSTUDIO BAILAS YATSUSHIROのダンスに始まり、麦島婦人会、平田京子歌謡ショーでステージイベントは大盛況、さらにスタッフバンドや4年連続で出演をしていただいている八代工業高校の吹奏楽演奏、華紅羅（かぐら）の皆様の力溢れる踊りなど、目が離せないお祭りとなりました。大人も子供もウキウキわくわく大抽選会は今年も喜んでいただけたものばかりでした。

また、今年の露店販売はスタッフの試行錯誤で

新商品（キャラメルポップコーン）が並びました。

来年も皆様の期待に添えるよう頑張りたいと思います。たくさんの方のご協力ありがとうございました。

松永 みゆき



来年は優勝を目指して!!

平成 27 年 11 月 5 日

毎年恒例となっております、城南地区秋季球技大会が行われました。熊本県南の精神科病院のうち 7 病院が参加しました。朝の肌寒い気候の中で参加しましたが、日中は快晴となり、ゲートボールは陽射しの強い中での競技となりました。

また、ミニバレーと卓球は一戦一戦をチーム丸となって競技しました。今回はゲートボールが五位、ミニバレーが二位、卓球が二位で総合「三位」という結果になりました。準優勝まであと一歩の結果に「もうちょっとだったな。」「一回負けたばってん、他は勝ったけん良かった。」等の声が聞かれました。

来年の春季球技大会は、患者様とスタッフがー丸となって、更に良い結果になる様に、がんばろうと思いました。

深田 耕



イベント紹介

世界文化遺産万田坑に行ってきました!

平成 27 年 11 月 6 日

秋気いよいよ深く30名程のメンバーで世界文化遺産になった荒尾市の万田坑にバス旅行に行きました。旅行に行く前には万田坑の歴史を学習したり、昼食、お土産品のことなどを話しあいました。旅行中、メンバー同士での交流も深まり、いつもより笑顔が多く楽しそうな場面がみられました。

万田坑では資料館や見学施設をスタッフの方に説明して頂きました。メンバーからは「万田坑に行ったら世界遺産になったのが分かるような気がしました。熱心に説明もされ良かったです。」「日本の産業革命の足跡を感じる旅行でした。」などの感想がきかれました。

昼食ではメンバーで話し合ったお弁当を頂き帰りに南関いきいき物産館にも立ち寄り友人、家族へお土産、夕食のおかずなど購入し 1 日、旅行を楽しむことができました。

帰院後「来年は天草でおいしい料理が食べたい。」「バス旅行を毎年、楽しみにしている。」などの声が聞かれました。

甲斐 春美



サンタからの贈り物

平成 27 年 12 月 15 日

慌ただしく過ぎる師走の月に、今年もクリスマスの時期がやってきました。

サンタクロースの格好をした司会のあいさつから始まり、OT スタッフのギターの音色に合わせた 5 病棟の合唱、何度も練習を積んで本番に臨んだデイケアメンバーの合唱で場内は拍手喝采でした。

スタッフバンドも衣装に力をいれ、クリスマスソングを演奏。

マジックショーでは、「おおー!」と歓声が何度も沸きました。

最後はサンタクロースからのクリスマスプレゼントが待っていて、笑顔で幕を閉じました。

岩本 美幸



白熱の戦い 院内ビーチバレー大会

平成 27 年 11 月 17 日

毎年恒例の院内ビーチバレー大会が開催されました。今年は各病棟から1チームずつ、デイケアから2チーム（ウイング、ロッドスチュワート）というカッコいい名前のチームの計7チーム30名と職員14名が参加しました。

珍プレー、好プレーが続出し、どのチームも白熱した戦いがみられました。

優勝はデイケアのウイングチームでした。

又来年は一人でも多くの参加患者様が增える事を願い、今後も楽しく無理のないビーチバレー大会が継続していければと思っています。



富田 節代

第53回 熊本県精神保健福祉大会 精神科医療永年勤続者表彰を受けて

平成 27 年 10 月 23 日 池辺 公子

先日、熊本森都心プラザホールにて熊本県精神保健福祉協会主催の協会表彰があり、精神科医療永年勤続表彰者として看護部から松田祐司・鶴山泰子・宮川磯美・池辺公子の 4 名が表彰を受賞してきました。

式典の前にはアトラクションとして美齡重（ミレージュ）による優しい癒しの音色を奏でるトーンチャイムという楽器の演奏が静かな雰囲気の中で行われました。その後、漫才コンビ松本ハウスによる「統合失調症がやってきた」という演題での公演が行われました。自らの体験を漫才やトークに織り交ぜながら一種の心理教育のように話が展開されました。統合失調症の発症エピソード、相方への疾病の告白、急業に伴う症状再発や自殺企図、10 年という長い治療期間と休養期間を得てもう一度漫才コンビとして活動を再開したこと。その一連の流れの中には相方である松本キックさんの存在がとても重要であり、友でありながら兄のように接するその姿勢には、看護を実施して行く中でも共感し参考になる部分がたくさん詰まっていました。無理をせず、あるがままの、出来る事から挑戦して行こうとの姿勢で講演など行い社会に貢献されている姿に感動しました。

私が入職した頃を振り返ってみると入退職する人は少なかったと記憶しています。私の後から毎年多くのスタッフが入职されたように思います。近頃は他の部署のスタッフの名前と顔が

覚えられない程、スタッフ数も増加し賑やかになりました。八代更生病院に勤務して印象深い事はなんといっても初めて受審した病院機能評価 V4 の認定を受けるまでの過程です。全職員が力を合わせ一丸となりマニュアル作成、医療・看護の質向上を目的とした勉強会、研修等など、一つ一つ積み上げ、今日礎となっていると思います。また、電子カルテ導入の際には私は人一倍苦労しました。病気で一年間休職し、復帰した時期と重なり新しい事が覚えられず、何度も同僚に尋ねノートにメモを取り、忘れたらノートを見ると言う習慣を身に付け今日へと至っています。同僚には大変、御迷惑をかけ御世話になりました。15 年間皆さんに支えられ今日まで働くことが出来たとあらためて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今後も体調管理に努めながら恩返しの気持ちで八代更生病院の発展に少しでもお役に立てるように微力ながらも力を尽くしていきたいと思っています。



お茶会

平成 27 年 12 月 28 日

毎年恒例のとなりましたお茶会が今年も行われました。

和の音楽を聴きながら温かさと癒しに包まれた空間で、心落ち着く年末の病院行事の一つです。当院の調理師の方々が作るつぎたてのお餅とお抹茶のおもてなしで美味しく頂きました。

山園 智子



第61回 九州精神医療学会 平成 27 年 11 月 19 日～20 日

レビー小体型認知症患者へのアプローチ ～薬剤投与困難な患者への 関わり看護を通して～

平成 27 年 11 月 19 日

5病棟 宮川 磯美

今回、レビー小体型認知症の特徴である易怒興奮や気分変動のある患者様に対し環境調整や統一した関わり看護について発表させていただきました。たくさんの方々の前での発表はとても緊張しましたが、発表を終えて達成感と満足感で胸がいっぱいになりました。他の発表も興味深いものがあり、今後のケアに参考にしたいと思いました。

これからも質の高いケアの提供を目指して全力で取り組んでいきたいと思います。

急性期病棟における認知症患者への看護 ～認知症患者入院長期化の要因と背景～

平成 27 年 11 月 20 日

3病棟 中山 和彦

当院の急性期病棟における認知症患者の入院長期化の要因と背景と題し、今後の退院支援の更なる充実を目的とし研究、発表してきました。

私は今回演者として初めての参加であり、発表時間が近づくにつれ緊張が増し心臓がバクバクとしていました。同行された科長、看護部長のフォローもあり無事に発表を終える事ができ、達成感と安堵感を迎える事が出来ました。

この看護研究の結果を、今後の退院支援に反映できるよう努めたいと思います。



復職に向けた作業療法と職場・職種の連携 ～実践的OTと環境調整～

平成 27 年 11 月 20 日

作業療法科 立木 翔

今回の学会では認知症や転倒予防についての演題が多く、今後、取り組むべき課題であると感じました。また、作業療法士として治療や予防に努めていくうえでエビデンスに基づいたプログラム構成やアプローチが必要であるとも学びました。

自身でも「復職に向けた作業療法と職場・職種の連携～実践的 OT と環境調整～」口述発表をさせていただき、場内からは質問もあり発表後も情報交換ができ新たな学びと充実感のある学会となりました。

九州理学療法士・作業療法士 合同学会2015 in 大分

平成 27 年 11 月 14 日

作業療法科 富永 結花

今回、思春期発達障がいを対象に行っている作業療法活動（ぶどうの木）とその症例 1 名についてまとめた発表を行いました。発表するに当たり活動内容や症例の経過をまとめ、日頃の関わりを振り返るよい機会となりました。発表後は他の病院からの質問で今後取り入れたい課題が出たり、話をする時間もあり情報交換できて良かったです。

また、他の演題発表を聞き、今後の活動にも活かしていきたいと思います。

外来診療 ご案内

※精神科医が
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後		予約外来					休診

診療 科目

精神科、心療内科、内科

受付 時間

新来 ▶ 午前 8:30～11:30(月～金)

再来 ▶ 午前 8:30～12:00(月～土)

午後13:30～16:00(月～金)

新来は**予約制**で**月～金曜日の午前中のみ**となります。

交通の ご案内



- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から
産交バス植柳経由→「南平和町」行き、
又は植柳経由→「君ヶ淵」「破木」「坂本駅」行きに
お乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「迎町交差点」バス停より徒歩3分

スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、
准看護師、調理師、調理補助、
看護補助を募集しています。

委細面談

連絡は、事務長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人 山田会

八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp